



「with コロナ」学習

『自律こそは力なり』

生徒指導主事 国分貴寛

部活動のない長期休校は初めてのことであり、学校として休校中の生徒の様子が心配だった。自主学習はできているのか。地域でトラブルが起らないか。生活が乱れ、休校が明けた後、今までの生活に戻れないのではないかと。しかし、実際は多くの子が自主学習に取り組み、学校メールやホームページの連絡を受け、自主的に考えて行動する姿を多く見た。トラブルの報告もない。登校日に聞くと「ずっと家の中にいました」と答える生徒がほとんどであった。中には部活動の自主練習を熱心に行う生徒や、マスクを作り学校に寄付してくれた生徒、ソーシャルディスタンスを取りながら学校の外庭掃除をする生徒など、多くの『自分で考え取り組む』姿を見た。

今どうすればよいかを考え、自ら行動に移せた生徒の姿に感心した。しかしながら、休校が明けた後も本年度は様々な課題が山積している。学校再開後も中学生として自ら考え、行動に移せるムッキー生であってほしい。

校内見学

記憶に残る新学期

一年 深谷 壮志

全員マスクを着用して行われた入学式から一か月が過ぎました。本当なら新生活に慣れる頃ですが、僕たちが登校できた日はたったの五日です。それでも予定通り入学式をしてもらえたことは、とても嬉しかったです。

週に一度の登校日は、数分しか学校にいらることができませんが、先生や友達に会えるので一週間が待ち遠しいです。少しずつ先生方の顔も覚えてきました。二回目の登校日は、十人グループに分かれて校内めぐりをしました。小学校にはない金工室や木工室があったり、被服室と調理室が分かれていたりすることに驚きました。特別教室に入ることはできませんでしたが、早くみんなと授業がしたいと思いい、わくわくしました。

いよいよ六月から本格的にスタートできそうな中学校生活。出遅れてしまった分、楽しみたいと思います。

家での過ごし方

今できること

二年 渡邊 有咲

新型コロナウイルスの影響で、学校が休校の間どう過ごしたらいいのか。そこで私は、三つのことを意識して過ごすようにしました。

一つ目は、規則正しい生活を送ること。学校がある時と同じ時間に寝起きをして生活リズムを整えることにしました。

二つ目は、毎日を動かすこと。部活動も自粛になったので、体力を落とさないように自主練習をし、前向きな気持ちで今できることをやろうと思いました。また、いつでも試合に臨めるように練習を積み重ねてきました。三つめは、家の手伝いを進んで行うこと。嫌々やるのではなく、楽しくやることを心がけました。すると、またやりたいと思いい、自然に進んで動くことができきました。

早くコロナウイルスが終息することを願っています。



学校再開に向けて

人と関わる大切さ

三年 服部 未歩

新型コロナウイルスは、「休校」という形で私の当たり前だった日常を崩していった。最も大きな変化は、人との関わりがほとんど無くなってしまったことだ。

今までは、学校に行くことでたくさんの人と関わることで、自分の考えを他の人と共有したり、他の人の考えに共感したりすることで、価値観や考え方の視野を広げることができていた。何より、人と関わることで笑顔になれていた。今までの学校生活を振り返ってみても、先生や友達と話している時のみんなの「笑顔」が一番心に残っている。

今はまだ学校に行けないが、全校生徒が再び元気に登校し、たくさんの人と関わって、ムツキが「笑顔」と「活気」であふれるよう、新型コロナウイルスの一日も早い終息を願っている。



役員退任の言葉

新しいPTA活動

R1会長 鳥山 祐子

一家庭一支援という新しい取り組みと共に始まったPTA活動。どのように進めていけばいいのか不安だらけでした。私が無事に務めることができたのも、天野校長先生指導のもと、役員の皆さん全員で力を合わせることでできたからだと思います。

また、この活動に携わり、子供たちの成長を身近に感じることでできました。とてもよい経験をさせていただきました。一年間、本当にありがとうございました。

六月の予定

- 一日 全員終日登校 部活動開始
- 一日〜 夏服完全移行
- 一六日 一年部活動見学
- 二四日〜 三年岡崎学力検査
- 一年部活動仮入部

*予定は今後の状況によって変更となる場合があります。